

小豆島中央病院

Shodoshima Central Hospital

当院は、島唯一の公立病院として2016年4月に開院しました。「地域の皆さんに寄り添う病院」として期待され、親しまれ、信頼される地域の中核病院を目指し、職員一丸となって邁進しています。

また、組織方針である「SCH」(S:Specialty 専門であるという意識を持って行動する、C:Community 地域の人たちに寄り添う医療を提供する、H:Hospitality 島内外に関わらず、人に安心を持ってもらえる病院)を常に念頭に置きながら努めています。



糖尿病透析予防チームの紹介



医師、看護師6名(CDEJ2名含む)、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師(KCDE)、放射線技師(KCDE)、医療事務、計13名で構成されています。糖尿病専門医はいませんが、みんなで協力して活動しています。

小豆島中央病院 糖尿病教室
糖尿病腎症透析予防委員会



糖尿病教室、教育入院、糖尿病腎症透析予防外来、フットケア外来を中心に活動しています。

また、老人会などの地域住民の集会や、小豆島～高松間のフェリー船内で健康教室を開催したり、世界糖尿病デーのブルーライトアップを行っています。